

「簡単だぞ！」

青森県清涼寺住職 柿崎宏隆

『小参』「何々に参加する」の参、参るという漢字の上に小さいと書いて‘しょうさん’と読みます。これは修行僧が仏の教えについて質問し、お師匠様、お師家様といった指導者が、これに答えること。そのやり取りを通じ仏の道へと誘（いざな）っていくという、禅の代表的な修行法です。現在ここ鶴見にございます大本山總持寺では、毎月一日と十五日の早朝、大祖堂にてこの儀式が原則行われます。

その年、私が尊敬しお慕いしておりますご老師が、この『小参』という儀式の中で、若い修行僧からこう問われました。

「仏教の真髄、一番大切な事とは何でございましょうか？」

広い法堂の、痛く感じるほど澄んだ空気に響くその修行僧の問いに、ご老師は温かみのあるお声でこう答えられました。

「明るく楽しく元気よくじゃ！」と。

その場には、他に百人近くの修行僧がおりましたが、皆、ポカーンとなり、そして次第にザワザワしました。それもわかります。ご本山の指導者が、仏教の真髄を問われて、出てきたお答えが、「明るく楽しく元気よく」です。きっと、もっと難しい言葉、四字熟語のような言葉でお答えになると皆想像したのですね。

若い修行僧は重ねて質問します。

「仏教の真髄が、そんな簡単なことでよろしいのでしょうか？」

それに対しご老師は、深く肯き、

「そうじゃ、簡単だぞ。なぜお前さんたちは毎日やらん？」とお答えになりました。

思いやりをもつ。困っている人がいたら声をかける。嘘をつかない。隣の人と毎日笑顔で仲良く暮らす。言うは簡単ですが、ただそれを日々行っているのか…。我が身を振り返れば、できていないことも沢山。正しいことは誰もが知っているけれども、行うのは難しい。だから、これは、『修行』なのですね。そして『仏道』なのです。ご老師の御言葉は、私達を幸せへと導く励ましです。

どうぞ一緒に、明るく楽しく元気よく、二度とない今日を重ねてまいりましょう。